

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R8(2026).3.0

No.16

豊岡市のホームページにもアップしています。豊岡市HP→上段「暮らし」→「教育・学校」→「教育研修センター」へ

令和7年度 第2回豊岡市小中一貫推進協議会より

次年度への提言（各ワーキンググループ）

【ふるさと教育】

- 探究的な学びのさらなる充実
- 小中学校9年間を通じた連続性系統性のあるふるさと教育の充実

【英語教育】

- 指導体制の充実
- 小中9年間の接続の強化
- 読み書きの段階的指導
- 成果発信の強化

【コミュニケーション教育】

- 今一度原点に立ち返り、コミュニケーション教育の共有を教職員、保護者、地域で図る。

【学習指導と生活指導】

- 生活指導と学習指導を軸にして、発達段階に応じつつ、より良い習慣づけで9年間の成長を支える取組となるよう、継続していく。

出席者

各学校長	30名
各一貫ブロック代表教員	9名
各一貫ブロック学校運営協議会委員	15名

豊岡こうのとりのプラン（第3期）令和8年度の概要の方向性について

- ☆「探究的な学び」について、次期学習指導要領の論点整理の内容から整理し、「探究的な学びのプロセスを回すだけで終わっていないか」、「探究的な学びの質は高まっているのか」という点に着目。
- ☆ 次期学習指導要領の論点整理が提言している、「質の高い探究的な学び」の3つのポイントについて。
 - 1つ目は、探究の学びが真正性であること。
 - 2つ目は、生徒の学びが自分ごとであること。
 - 3つ目は、教科横断性であること。
- ☆ 令和8年度の概要の方向性について
今まで行ってきた豊岡こうのとりのプランの取組を土台とし、特にふるさと教育を中心に、9年間の連続性のある探究的な学びの一層の充実を図る。

各一貫ブロックにおける協議について

竹野学園から実践報告を受けました!

Ⅰ 9年間の連続性、系統性のある「ふるさと教育」のさらなる充実に向けて

◎A一貫ブロックの例

- ・各小学校でカリキュラム（地域の特色）が違う
例 a 小学校 靴産業について、b 小学校 コウノトリについて 等

↓

- ・各小学校でのカリキュラムについて共通理解を図る
※各小学校で、地域の特色（魅力）をいかした「ふるさと教育」を推進する

↓

- ・中学校では、各小学校での取組をふまえ、「ふるさと教育」の探究的な学習を推進していく（案）A中学校区の各学校で発表会を行う、小中合同で、探究の学びを見せ合う など

↓

児童生徒に達成感を感じさせる

◎B一貫ブロックの例

- ・小学6年生と中学1年生の円滑な接続
小学校、中学校の学習内容を整理し、中学校で発展・深化させる年間指導計画を作成する。
小中合同研修や情報交換会を実施し、指導の視点を共有する。
- ・児童生徒が自ら課題を設定できる仕組みづくり
地域見学、フィールドワーク、地域講話等を通して疑問や気付きを生み出す。
体験後に「問いづくり」の時間を設定し、課題を明確化する。
- ・学校運営協議会と連携した教育活動の構築
- ・ふるさと学習のゴールを「地域」とする取組
地域公開型発表会の実施、地域への還元、多様な発信方法の活用

② 来年度の取組（一貫ブロックとして）に向けて

◎C一貫ブロックの例

- ・ふるさと教育、英語教育、コミュニケーション教育は各校がカリキュラムに沿って取り組んでいるが9年間を見通した線になっていない。それぞれの取組を線でつないでいけるような取組に変えていくためにはどうすればよいか検討する。
- ・英語教育に関しては英語科の先生やALTの先生に任せきりになっている。小学校低学年では、いかに英語を身近に感じられるかという視点で楽しい授業になっているが、高学年、中学校になると成績や入試へ向けての学びになっていってしまう。ブロックとして一貫して取り組む英語教育（大切にすること）についても検討する。

◎D一貫ブロックの例

- ・学習部会において、「家庭学習のすすめ」をより子どもたちが取り組みやすいように再検討する。ふるさと教育については、小学校から中学校へつながるカリキュラムの検討を行っていく。生活部会において、「眠育」の取組を進め、睡眠の大切さについて取り組んでいく。また、「メディアコントロール」の取組を進める。人権部会において、道徳の授業参観と事後研について、人権教育の観点から進めることができるように取り組む。

学識経験者の方々からは、

- 「豊岡こうのとりのプラン」の実績が見えて、現状値が常に上がっていること
- コミュニケーション教育で、自分の思いを言葉にして話したりする力をつけていくと感じておられる保護者が多くいらっしゃる
- 豊岡市の教育の中心にある小中一貫教育、本当に長い間の取組があって今、この成果が出ていること
- 先生と子どもたちが一緒になって教育活動されている姿が、基本中の基本であり、子どもたちの視点の中で、もっと良くするためにはどうしたらいいかについて共有されていること等の言葉をいただきました。

より丁寧な、9年間をつなぐ教育の展開が大切となります。今、各一貫ブロックで実態にあったより細やかな教育が行われています。第5次とよおか教育プランの基本理念である、豊岡で育む「在りたい自分」と「在りたい未来」を創造する力の実現に向け、さまざまな視点から子どもの学びを支えていきましょう。